

著者略歴

高田 純 (たかだ・じゅん)



- ・札幌医科大学教授、理学博士。
大学院医学研究科放射線防護学、
医療人育成センター 物理学教室。
- ・放射線防護情報センターを主宰。
(<http://rpc.jp>)
- ・放射線防護医療研究会代表世話人。
- ・日本シルクロード科学倶楽部会長。
- ・弘前大学理学部物理学科卒。
広島大学大学院理学研究科（核実験）博士課程前期修了、同課程後期中退。
- ・鐘淵化学工業中央研究所、シカゴ大学ジェームス・フランク研究所、京都大学化学研究所、イオン工学研究所、広島大学原爆放射線医科学研究所、京都大学原子炉実験所を経て、2004年より、現職。
- ・第19期日本学術会議研究連絡委員。
- ・鐘淵化学工業技術振興特別賞、未踏科学技術協会高木賞、アパグループ「真の近現代史観」懸賞論文最優秀藤誠志賞を受賞。
- ・日本保健物理学会、日本放射線影響学会会員。
- ・著書に『誇りある日本文明』（青林堂）、『世界の放射線被曝地調査』（講談社ブルーバックス・医療科学社復刊）、『東京に核兵器テロ！』（講談社）、『核爆発災害』（中公新書・医療科学社復刊）、『核と刀』（明成社）、『放射線防護の基礎知識—福島第一原発事故に学ぶ』（イーグルパブリッシング）、『核災害からの復興』『核災害に対する放射線防護』『核と放射線の物理』『お母さんのための放射線防護知識』『医療人のための放射線防護学』『核エネルギーと地震』『中国の核実験』『核の砂漠とシルクロード観光のリスク』『ソ連の核兵器開発に学ぶ放射線防護』『福島 嘘と真実』『人は放射線なしに生きられない』『シルクロードの今昔』『21世紀 人類は核を制す』『放射線ゼロの危険』『核爆発災害』『決定版 福島の放射線衛生調査』（以上、放射線防護学入門シリーズ、医療科学社）など。